



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
【URL】 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2016年10月28日

報道関係 各位

～七飯町、並びに北海道開発局函館開発建設部との協働で地域振興を～

自動販売機を活用した道路交通情報・地域情報の 発信等の協働事業を開始します！

西大沼チェーン着脱場における自治体・北海道開発局との三者協働事業

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、国道のチェーン着脱場における新たな地域振興の協働事業として、西大沼チェーン着脱場（七飯町）において、地域住民及び道路利用者の安全・安心、利便性の確保と地域振興活動の充実に向けた協働事業の実施に関する協定を締結し、七飯町並びに、北海道開発局函館開発建設部との三者による協働事業を2016年11月1日よりスタートいたします。

●具体的な協働事業の内容は以下の通りです。

1. 西大沼チェーン着脱場に当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機（以下、「電光掲示板付き自販機」）を設置し、七飯町から地域情報、並びに北海道開発局函館開発建設部から提供される道路交通情報の発信を行う。
2. 七飯町からの遠隔操作により、災害等の非常時に電光掲示板付き自販機内在庫の商品の無償提供を行う。

このたびの三者協働の事業により、当社の電光掲示板付き自販機での様々な情報発信、災害時の飲料無料提供は、道路利用者への安全・安心や利便性の増進に加え、地域防災意識の高揚、緊急時の防災拠点機能など地域防災力の強化を目指します。

本協働事業の運用開始セレモニー（点灯式）を下記の通り実施しますのでお知らせいたします。

日 時：2016年11月1日（火） 午後2時00分

場 所：西大沼チェーン着脱場

出席者：七飯町 総務部長

北村 到 様

当社 営業統括本部第二本部 地域連携担当部長

山下 裕司

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当：竹内

TEL 011-888-2135

【参考 1】七飯町と当社との協働事業実施経緯

- ・2006年12月に北海道と当社の間で締結した「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」に基づき、七飯町との間で「災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定」を2009年3月17日に締結しました。
- ・七飯町から災害対応型自動販売機（電光掲示板搭載）を通じて、平常時には防災情報や地域情報を配信して、地域住民の防災意識の高揚をはかり、災害発生時には災害情報の配信や、電光掲示板付き自販機内在庫の商品の無償提供、並びに飲料物資の供給等を行います。

【参考 2】国土交通省北海道開発局と当社との協働事業実施経緯

- ・2006年、北海道開発局と当社は北海道の活力ある地域づくりを目指して、「協働事業に関する包括協定」を締結しました。この協定に基づき、北海道開発局、市町村、当社での三者連携による道路利用者への情報提供手段として、電光掲示板付き自販機を活用した情報配信サービス「おしらせ道ねっと（※1）」を展開しています。この自動販売機は電光掲示板を通じて文字情報を表示することが可能で、平常時は自治体（市町村）からの地域情報を、緊急時には災害情報や道路情報を表示することができます。また、災害時には自治体の判断で遠隔操作によって無料で清涼飲料水を提供することが可能です。
- ・2012年、北海道シーニックバイウェイと、競争力ある魅力的な北海道の実現に向けた包括連携協定を締結しました。
- ・2014年、道路保全に関する協働事業として、道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤル（※2）の啓発活動に向けて、道内全ての開発建設部と「『道路異常の情報共有及び道路緊急ダイヤルの啓発活動』における協働事業の実施に関する細目協定」を締結しました（2015年8月末現在で全ての開発建設部と締結）。当社車両（約1,000台）を対象に北海道開発局が制作した道路緊急ダイヤルの啓発ステッカーを掲示し、当社社員が迅速に道路異常の通報を行うとともに、地域の皆様からも通報が多く寄せられることで、道路保全に貢献することを目的としています。また、当社の道内各事業所には道路通行規制等の情報提供を頂き、円滑な道路交通に活用しています。
- ・2015年、国道における新たな地域振興と地域防災力強化に向けた取り組みとして、開源パーキングシェルター（豊富町）、猿払パーキングシェルター（猿払村）、国道38号十勝清水防災ステーション（清水町）、及び国道236号豊似防災ステーション（広尾町）における、電光掲示板付き自動販売機を活用した、地域住民及び道路利用者の安全・安心、利便性の確保並びに地域振興活動の充実に向けた自治体との3者協働事業をスタートしました。
- ・2016年、北海道を訪れ、周遊する外国人観光客へ道路情報をわかりやすく発信するため、道の駅等に設置されている電光掲示板機能付き自動販売機「おしらせ道ねっと」（123箇所）を活用して、英語による道路情報の発信をスタート。

（※1）当社の電光掲示板付き災害対応型自動販売機にて、地域情報や災害情報を配信するサービスで、道の駅を中心に、2016年7月末時点で123台の自動販売機で展開されています。

（※2）道路緊急ダイヤルは、道路利用者が幹線道路の異常等を発見した場合に、直接道路管理者に緊急通報できるようにするとともに、それを受けた道路管理者は迅速に道路の異常への対応を図ることによって、安全を確保します。電話番号は「#9910」で、通話料は無料です。（出典：北海道開発局ホームページ http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_doro/9910/）



道路緊急ダイヤルの啓発ステッカー



「おしらせ道ねっと」自動販売機